

上益城郡医師会が参画した 小規模法人のNW化による協働推進事業 の取り組みについて

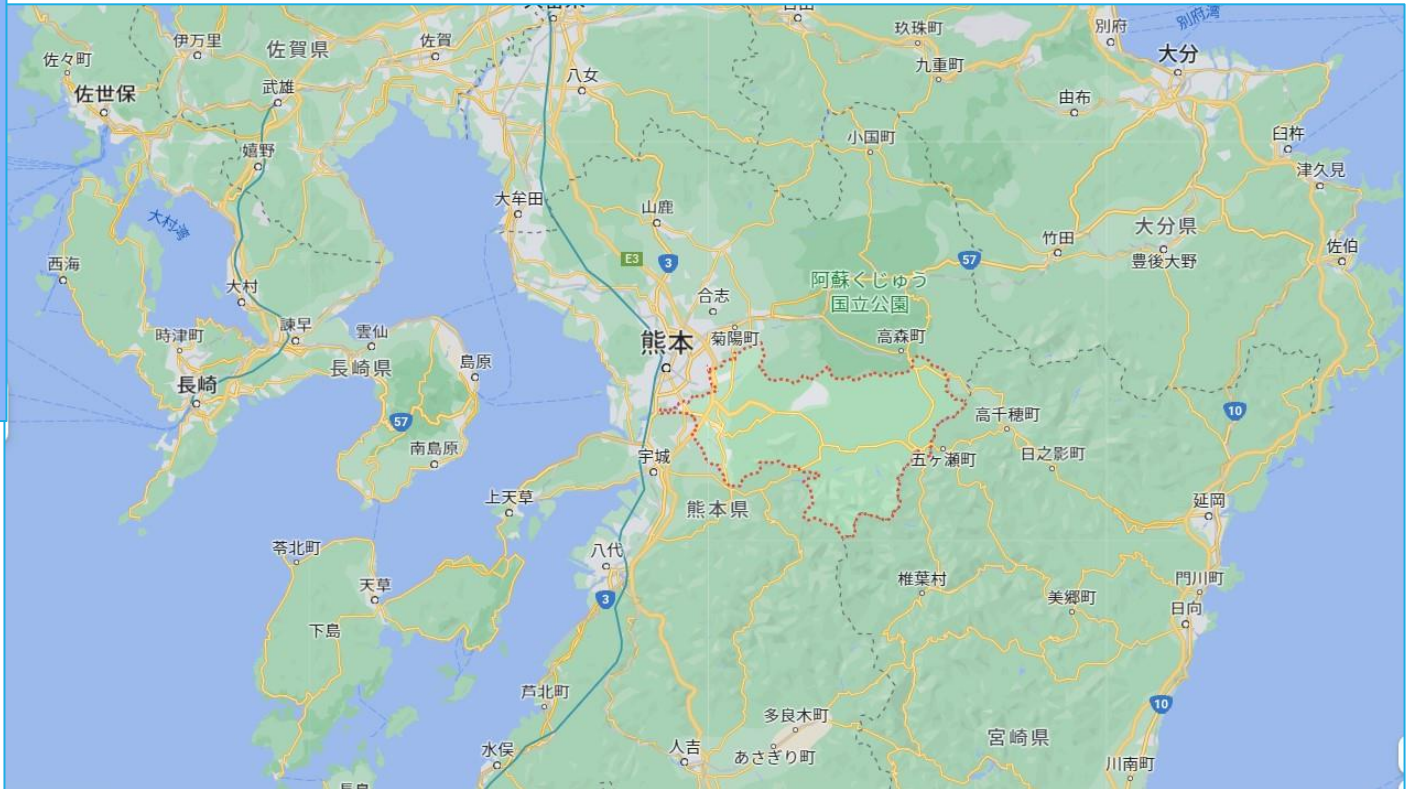
令和4年度社会福祉連携推進協議会

上益城郡医師会 在宅部門担当
医療法人谷田会 経営企画部長
介護事業部長

吉橋 謙太郎



- 嘉島町：人口 9, 547人 / 高齢化率 26.5%
- 益城町：人口 32, 510人 / 高齢化率 30.0%
- 御船町：人口 16, 303人 / 高齢化率 34.7%
- 甲佐町：人口 10, 132人 / 高齢化率 39.4%
- 山都町：人口 13, 503人 / 高齢化率 50.1%



上益城郡5町



特医谷田会 谷田病院：85床

(地域包括39床、医療療養4床)

+ 介護医療院14床

+ サ高住29室

社福綾友会 桜の丘 特養：144室

医療興和会 なごみの里 老健：65床

医療法人香和会 香田整形：19床



ひとづくり

まちづくり

甲佐町で、子どもを育てたい、暮らしたいと思ってもらえるような
ひとづくり、まちづくりの推進

甲佐町内外の様々なひとや団体との連携のもと、甲佐の自然、伝統、食、街並みなど、すべての地域資源の魅力を発掘、または向上させ、甲佐町の交流人口の増加による地域経済の循環を通じた持続可能なまちづくりを目指し、また、スポーツや文化活動を行う交流の場の形成を通じた健康の増進を図り、その結果、すべての町民がしあわせを感じられるような地域づくりを推進することを目的とする。

平成30年7月31日 「連携協定締結式」

「甲佐町における歴史的資源を活用した地域活性化
及び地方創生推進に関する連携協定」締結式



甲佐町と甲佐町商工会、(株)NOTE、(一社)パレット、医療法人谷田会谷田病院、(株)肥後銀行が、空き家や甲佐町の自然等の歴史的資源を活用し、街並み整備や観光振興等に関する取組みを連携して行うことで、甲佐町の交流人口を増やし、地域の活性化及び地方創生の推進に寄与するものです

「西村邸」 古民家改修 → 宿 & レストラン



旧西村民俗資料館利活用基本計画に基づき、住民参加型ワークショップによる改修を行う



町内にホテルの復活 NIPPONIA 甲佐 疏水の郷

経緯

2016年：有志の会「上益城郡在宅医会」が発足

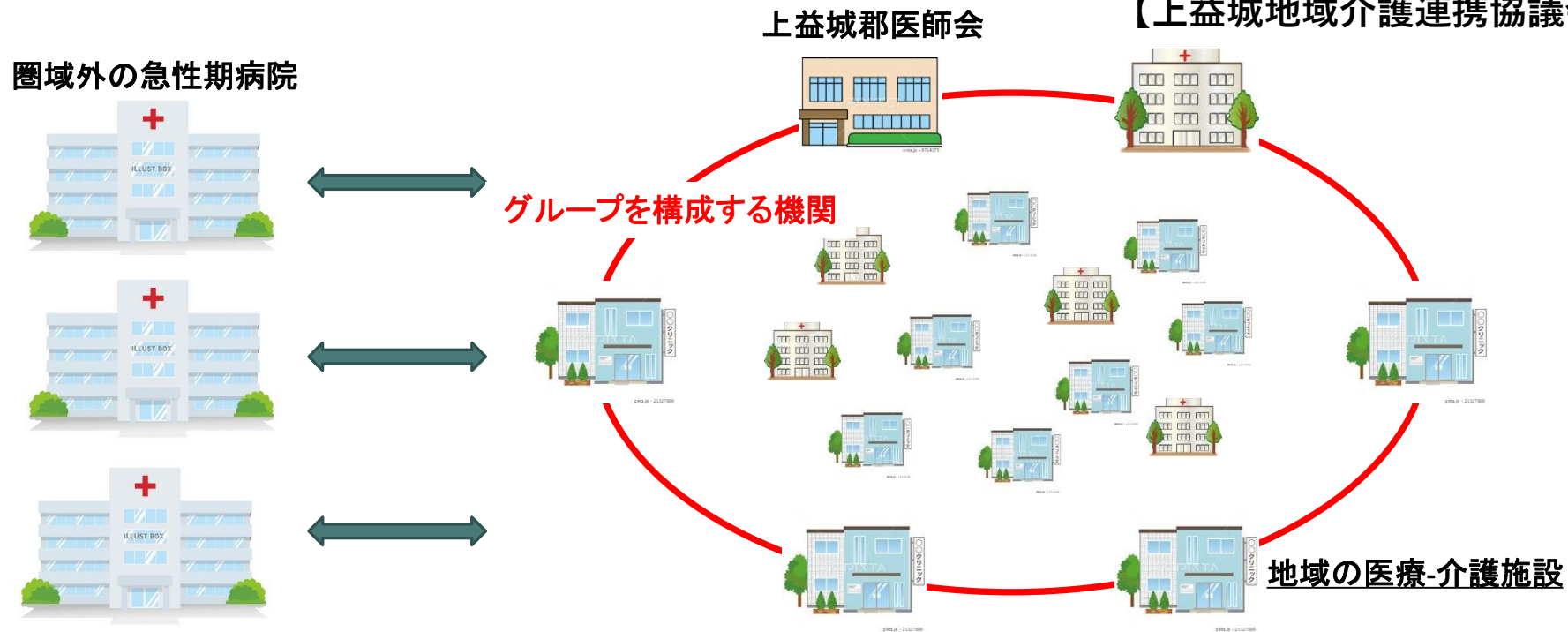
上益城圏域の医療-介護の連携づくり

※上益城郡医師会の連携部門を担当

【上益城郡在宅医会】

【上益城地域在宅医療サポートセンター】

【上益城地域介護連携協議会（小規模法人NW）】



経緯

2016年：有志の会「上益城郡在宅医会」が発足

医療のネットワーク化

2018年：上益城郡在宅医会を上益城郡医師会の下部組織に

上益城郡5町の在宅医療・介護連携事業の一部を受託

上益城地域在宅医療サポートセンター事業を受託

小規模法人のNW化による協働推進事業の内容

法人間連携プラットフォームの設置

複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

福祉／介護人材の確保・定着のための取組の推進

参画法人の事務処理部門の集約・共同化の推進

複数法人の連携による地域貢献のための 協働事業の立ち上げ

- ア：様々なニーズに対応した分野横断的かつ包括的なワンストップ相談支援拠点の設置
- イ：現時点では自立している単身高齢者に対する見守り等その孤立死防止のための事業
- ウ：公的サービスの利用ができない者に対するゴミ出しや買い物等の軽度日常生活支援
- エ：高齢者や障害者、子ども、地域住民等の共生の場づくり
- オ：緊急一時的に支援が必要な者に対する宿所や食料の提供、資金の貸付け
- カ：貧困家庭の子どもに対する奨学金の貸与と、自立に向けた継続的な相談支援
- キ：仕事と介護や子育ての両立に向けた支援
- ク：地域課題を踏まえた障害者等の職場づくり
- ケ：中山間地域等における移動困難者に対する移送支援
- コ：高齢者や障害者等に対する権利擁護支援
- サ：災害時要援護者に対する支援体制の構築 等

福祉・介護人材の確保・定着のための 取組の推進

ア：職員のスキルアップ等のための合同研修の実施

イ：人事交流の推進

ウ：新規人材を確保するための広報、合同面接会の開催

エ：適正な経営労務管理体制の構築のための専門家からの助言

オ：食事提供の一体実施などサービス提供・事務処理体制の効率化のための取組

カ：共通の人事考課、賃金テーブルの作成に関する専門家からの助言

キ：合同福利厚生事業の実施 等

2019年度

- ◆ プラットフォーム「上益城地域介護連携協議会」を発足
- ◆ 複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ
 - (エ：高齢者や障害者、子ども、地域住民等の共生の場づくり)
 - (コ：高齢者や障害者等に対する権利擁護支援)
- 認知症の人を地域で支えるための啓発イベント「認知症カフェ」を開催
- 認知症の人を支えるサポーターを増やすための「認知症サポーター養成講座」を開催

2020年度

◆ 複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

（イ：現時点では自立している単身高齢者に対する見守り等その孤立死防止のための事業）

（ウ：公的サービスの利用ができない者に対するゴミ出しや買い物等の軽度日常生活支援）

➤ 上益城地域異業種交流会（Gojo×Gojo交流会）の開催

上益城地域異業種交流会 Gojo*Gojo

～皆様ができるサービスで高齢者の住みやすい街づくりを～



参加企業例

年々高齢化社会が問題となっている現代にとって、これからいかに高齢者が暮らしやすい町づくりを行っていくかが重要とされています。そんな中で、医療・介護・行政だけでなく、地域企業・地域住民みんなで助け合い(互助)、それぞれで行っているサービスや自分たちにできることを顔の見える関係となり、一緒に考えてみませんか？

- 電球交換
- トイレ・水道での困りごと
- お金に関する困りごと・相談
- 食事・生活用品について
- 家電製品販売店
- 水道工事会社・排水関係業者
- 銀行・司法書士・警察(詐欺被害等)など
- 飲食店・スーパー・配達業者

交流会の内容

テーマ



～皆様の高齢者の暮らしを支えるサービス教えて下さい～

2020年度

◆ 複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

(イ：現時点では自立している単身高齢者に対する見守り等その孤立死防止のための事業)

(ウ：公的サービスの利用ができない者に対するゴミ出しや買い物等の軽度日常生活支援)

➤ **上益城地域異業種交流会（Gojo×Gojo交流会）の開催 ⇒ コロナ流行で中止**

◆ 複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

(エ：高齢者や障害者、子ども、地域住民等の共生の場づくり)

(ク：地域課題を踏まえた障害者等の職場づくり)

➤ **高齢者の社会参加および仕事創出**

※熊本県生涯現役促進地域連携協議会の「GBER」を活用したマッチング

GBER: Gathering Brisk Elderly in the Region (地域の元気高齢者を集める)

戦後から今日までで、私たち日本人の平均寿命は30年も伸びました。それは同時に、私たちは定年後に30年もの新しい人生のステージを獲得したことであります。新しい人生のステージの長い時間を、いかに充実させ心身共に健康で過ごすことができるか、「社会参加」がそのキーワードになっています。

GBER(ジーバー)は、現役時代とは異なる形で、個人に合わせたペースでの無理のない社会参加を助けるインターネットサービスです。空いている時間に、好きな場所で、あなたの興味関心やスキルに合わせて、仕事、ボランティア、生涯学習や興味など様々な地域活動を見つけ、参加することを助けます。

GBERの主な機能(熊本版のイメージ)

カレンダーUI



マップUI



Q&A



2020年度

◆ 複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

- (イ：現時点では自立している単身高齢者に対する見守り等その孤立死防止のための事業)
- (ウ：公的サービスの利用ができない者に対するゴミ出しや買い物等の軽度日常生活支援)

➤ 上益城地域異業種交流会（Gojo×Gojo交流会）の開催 ⇒ **コロナ流行で中止**

◆ 複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

- (エ：高齢者や障害者、子ども、地域住民等の共生の場づくり)
- (ク：地域課題を踏まえた障害者等の職場づくり)

➤ 高齢者の社会参加および仕事創出 ⇒ **コロナ流行で中断**

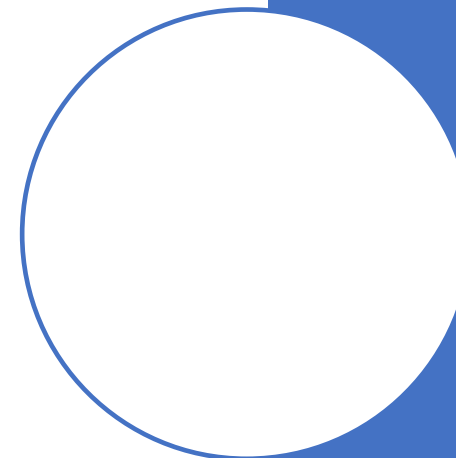
※熊本県生涯現役促進地域連携協議会の「GBER」を活用したマッチング

◆ 福祉／介護人材の確保・定着のための取組の推進

- (イ：人事交流の推進)

➤ オンライン会議およびオンライン勉強会等の構築

2021年度は協議のみで実働
はできず…。



ただし、状況に
変化がありました。

複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

参画法人が保有する資産及び人員／設備を活用しつつ、それぞれの法人の強みを活かしながら、地域課題の解決を図るためア～サに掲げるような地域貢献のための取組を立ち上げ、試行する。

当初は、

「それぞれの今できること（小さな負担）を集めて地域課題を解決しましょう！」

福祉・介護人材の確保・定着のための取組の推進

既存職員に過重な負担が生じることのないようにするとともに、小規模法人等における経営労務管理体制の底上げを図る観点から、ア～キに掲げるような福祉／介護人材の確保・定着のための取組を推進する。

当初は、「マンパワーを確保していきましょう！」

2022年度（再始動＆下準備）～2023年度

複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

- 上益城地域異業種交流会（Gojo×Gojo交流会）

福祉・介護人材の確保・定着のための取組の推進

- 高齢者の社会参加および仕事創出（GBERを活用したマッチング）

2022年度（再始動＆下準備）～2023年度

複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ

福祉・介護人材の確保・定着のための取組の推進

今後の展望

今後も上益城地域の地域課題を解決していくためには

◆ 地域共生社会の実現に向けて、制度／分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画できるよう

- 医療ネットワーク（在宅医会／地サポ）
- 介護ネットワーク（小規模法人NW）
- 異業種ネットワーク（異業種交流会）

⇒ 一つのプラットフォーム上で繋がる